

# News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)  
YAMANASHI NETWORK  
FOR DIVERSITY & INNOVATION

Vol. 17 2024年  
12月発行

## ご報告 | 令和6年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました

**日時** | 令和6年8月27日(火) 14:00~15:30  
**場所** | 大村智記念学術館大村記念ホール (Teams同時配信)  
**講師** | 森山 至貴 氏 (早稲田大学文学学術院教授)  
**タイトル** | 「言葉のちからとダイバーシティマネジメント」  
**参加者** | 管理職および管理職を目指す方 (山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、シミックグループおよび株式会社はくばくの社員) 154名

講演では、「ずるい言葉」の定義とその背景にある問題点を多くの例を挙げて説明していただきました。職場でのコミュニケーションを改善するためには、異なる属性を持つ人々が生み出す権力差に敏感であることが必要であると指摘されました。また、職場環境の中で、平等でないものがある場合、マネジメント側がマネジメントされる側を(説得という方法ではなく)言葉の力(「ずるい言葉」)を使って誘導することを避け、より平等なコミュニケーションを目指す必要性を強調されました。

- 感想** |
- それと気付かずに行っていたことや、指摘されたのと同じ内容で行っていたことが明らかになり、自分の改善すべき点を意識することができました。
  - 大変勉強になりました。想像力を働かせて言葉を選んでいくべきだと感じました。



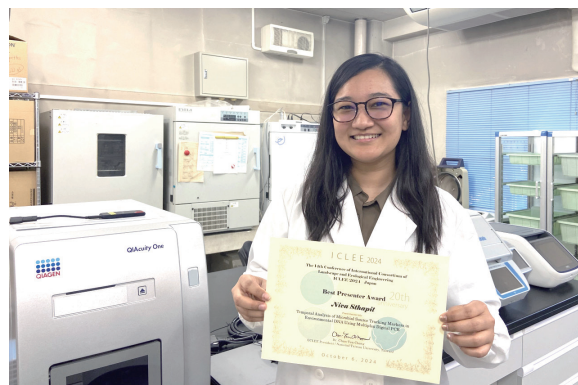
## ご報告 | 当室支援事業(若手研究者 研究支援)採択者のスタピット ニバ工学域研究助教が国際会議ICLEE2024で優秀発表賞を受賞しました

令和6年10月4日(金)~6日(日)、九州工業大学(福岡県北九州市)で開催された国際会議ICLEE2024(14th Conference of International Consortium of Landscape and Ecological Engineering)において、スタピット ニバ工学域研究助教が優秀発表賞を受賞しました。

本賞は、優れた口頭発表を行った若手研究者に贈られるもので、今回は50名のうち5名が受賞しました。

受賞題目は「Temporal analysis of microbial source tracking markers in environmental DNA using multiplex digital PCR (マルチプレックスデジタルPCRを用いた環境DNA中の微生物起源追跡マーカーの時間的解析)」で、山梨県内で5年間にわたって採取した河川水を対象に、動物由来の汚染の影響を調査した成果を報告しました。

受賞したスタピットさんは、「本研究で開発した技術を活用することで、河川水中の汚染源の可視化が可能となり、汚染負荷の低減策の提案につなげることができると考えています。受賞を励みに、今後も研究分野に貢献できる良い成果を得られるよう努力していきたいと思えます。」と語っています。



## ご報告 | 令和6年度スキルアップセミナー 「英語論文の書き方オンラインセミナー (初級者から中級者向け)」を開催しました

**日時** | 令和6年11月14日(木) 14:00~15:00

**開催方法** | オンライン (Zoom)

**協力** | ユサコ株式会社、カクタスコミュニケーションズ株式会社

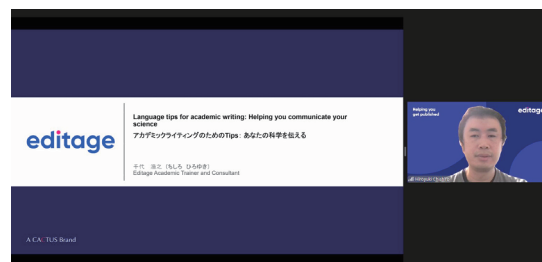
**講師** | 千代 浩之 氏 (東京大学大学院特任講師、慶応大学大学院客員講師などを歴任)

**タイトル** | 「アカデミックライティングのためのTips: あなたの科学を伝える」

**参加者** | 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、  
シミックグループおよび株式会社はくばくの社員76名

セミナーでは、「アカデミックライティングのためのTips: あなたの科学を伝える」と題し、論文の形式IMRAD (Introduction, Materials and methods, Results, and Discussion) の各セクションについての説明、時制の使い分け、おさえるポイントについて、First draftを執筆する際のtips、ライティングスキルを向上させるためのtips等をご講義いただきました。

- 感想**
- 論文執筆全般にわたり重要な内容がコンパクトにまとめられており、また、とても役に立つ内容が含まれていて、受講して良かったです。
  - 復習とともに新しい発見があり、大変有意義な内容でした。



## ご報告 | 令和6年度次世代リーダー育成企画 「そうだ 宮崎さんに、聞いてみよう。」を開催しました

**日時** | 令和6年11月15日(金) 13:30~15:00

**開催方法** | オンライン (Teams)

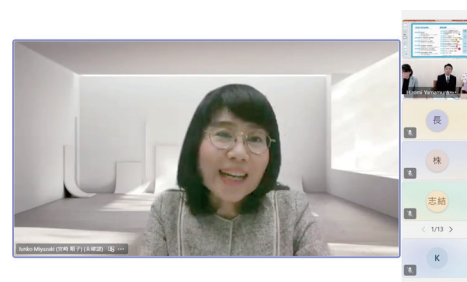
**講師** | 宮崎 順子 氏 (株式会社ドコモCS 山梨支店長)

**参加者** | 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、シミックグループおよび  
株式会社はくばくの社員等58名

宮崎氏には、自身のキャリアロールモデルを軸に、仕事を継続するためのモチベーションの保ち方や大事にしている考え方についてご講演いただきました。

ご講演後の座談会では、チームで壁を乗り越えたお話やモチベーション上げる方法、モチベーションを維持し後押しすることで若手育成につなげる考え方を伺いすることができました。さらに、ドコモにおける女性管理職比率や女性管理職・役員比率を増加するための取組・制度をお伺いすることができました。

- 感想**
- 活躍されている方が日頃どのようなことを考えて仕事をなさっているのか、モチベーションが下がっていた私にとっては良い刺激になりました。
  - 女性の働き方について、従来の男性社会のしきたりなどを継承していくのではなく、いろんな視点で物事に対応し、いわゆる開拓精神を持って前向きに取り組んでいく力の必要性を強く感じました。



## 令和6年度後期 利用状況

(令和6年12月時点)

制 度	利用人数
キャリアアシスタント(CA)制度	女性研究者 3名/男性研究者 12名 配置された研究支援員(学生) 女性 19名/男性 6名

### 学内利用者募集中

#### ■女性研究者に対する論文投稿費と英文校閲費支援制度

(締切: 令和7年1月31日(金) 必着)

[詳細はこちら](#)



## 国立大学法人山梨大学 男女共同参画推進室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp  
HP: <https://danjo.yamanashi.ac.jp/diver/>

